

# 道退教の会員・役員・支部便り

NO 94 2013年 1月 21日

「あけましておめでとう」ございます



道退教渡島・函館支部  
支部長 大沼 廣平

毎年この時期、今年こそ心豊かに安心して平和に暮らせるようにとの  
色々活動してきましたが、一年を振り返って見ると行き先の見えない不安な年でした。

大震災や原発事故の被害者への支援の遅れ TPP交渉参加・消費税増税・オスプレイ・沖縄の米軍基地、さらに放射能の拡散により多くの被害が出ているにもかかわらず原発再稼動や再建など国民の不安を募せる問題が山積しました。総選挙で大勝した自民党は、早速憲法を改正し自衛隊を国防軍に集団的自衛権が行使できるようにするなど再び戦争への道を促し右より路線を明確にしています。

そして安倍首相は原発再稼動の推進・防衛費予算の上積・PTT交渉の参加の可能性など示唆しています。

今年は参議院選があります。このまま自民党を增長させるわけにはいきません。みんなの力で草の根運動を発展させ革新勢力を伸ばしていきましょう。

また私達道退教の活動の柱である「ひとりぼっち」の会員をつくらない大切さが新聞に報道されました。それは自分が孤独だと思つてゐる高齢者は認知症にかかりやすい可能性があるというオランダのある大学チームの研究です。高齢者の孤独感のある人が認知症になりうるリスクはそうでない人より64%も高いということです。

私たちは「楽しみと運動の統一」の活動の中で「ひとりぼっち」の会員をつくらないことを合言葉に活動してきました。

今年もサークル活動や福祉委員会での親睦交流などを通して多くの仲間と交流できる機会をつくりたいと思っています。色々な催し物の呼びかけに参加してください。

二〇一三年会員のみなさんが健康で心豊かに活動できるようにご協力よろしくお願ひ致します。



## 退職者激励と連帯の集い案内

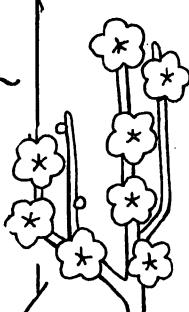
- ◆とき—2月9日(土) 11:30~
- ◆ところ—ホテルテトラ
- ◆会費—2,500円

※退職教 申し込み先

※杉本友子さんへ

電話 52-2916(FAX 同じ)

▼ 締め切り—2月3日まで厳守  
○ 詳しくは同封のパンフ参照



◇新年交流会  
参集の皆様へ苦労様

一月十七日、恒例の「新年交流会」を湯川のイマジンホテルにて開催されました。

橋本名カーママン持参の自動シャッター付カメラで撮影。大沼支部長あいさつの後、全員参集したところで「記念写真」を会食に入りました。久しぶりに顔をあわせたところで一人一人の近況報告を聞きながら親交を深め合いました。最後に余興として、倉部会員の指導のもと集団遊びに興じて一次会を終えました。引き続き二次会を幹事団の部屋でやり談笑し合いました。

参加者数は三十一名でした。来年度も多

数の参集を期待しております。

平成25年 道退教 渡島・函館支部 新年交流会



## ◇「子ども白書」作成

- ・ 子ども権利ネットワークより上記白書作成の会議出席・並びに作成作業への協力要請が退教にあり、これまで大沼・小黒・多田会員等が会議出席してまいりましたが、いよいよ具体作業の段階に入るため明日1/22、9時より事務所において作成作業の具体化等について話し合われます。今後、会員の皆様のご協力をお願いする状況になりましたら何分よろしく



(12・21日付道新)

## 最大限 民意がきちんと

## 反映される 選挙制度に



民意の多く死票  
小選挙区改めよ  
・主婦 塩田 照子 63  
(渡島管内七飯町)  
今回の総選挙では自民党  
が大勝した。しかし、この  
勝利は現在の選挙制度によ  
るところが大きい。自民党  
の議席増は小選挙区で圧勝  
したおかげであり、民意を  
そのまま反映しているのか  
疑問だ。

現行の小選挙区比例代表  
並立制ではこうしたことが  
起きるのである。まして、  
選挙制度改革で出ている比  
例代表の定数削減などと  
てもない。

二大政党のどちらかに振  
り子が揺れ、民意の多くが  
死票となる小選挙区制はや  
めるべきだ。国会は民意を  
正しく反映する選挙制度を  
探求してほしい。公平な選  
挙制度がなければ、民主主  
義は死んでしまうとの危機  
感を強めた今回の選挙結果  
だった。

い議席を得て、憲法改正に  
の各種世論調査でも、自民  
党の支持率は二十数%だつ  
た。そういう党が300近



\$

”北海道を満喫した全教スキーツアー”

26日、ピリカスキー場についた参加者は『できるの～』という表情。激しい吹雪を目の当たりにして不安を感じたのです。高田先生の進行で、今年から講師として加わった佐藤強先生が紹介され、パラレルができる方々とパラレルを目指す方々に分かれ1日目が始まりました。とにかく雪と風とこの冬一番の寒さの中スキーをしました。初滑りの人が多くたようですが、昨年の感を取り戻し、手ごわい不整地の斜面を安定した姿勢で何回も滑っていました。参加したみなさんは終わった後の温泉を楽しみに頑張れたのではないでしょうか？



参加者は現役7名、退職10名、小学生2名でした。スキーはしなくとも温泉が楽しみという参加者の方もあり、ピリカの温泉は疲れを癒してくれます。ぬるめの温泉は長く入っていられるのでスキーの後は食事まで各自ゆっくりと過ごしました。夕食は山の鍋と海の鍋があり、席についてから「あれっ？違う鍋だ！こっちがいいなあ」と、わいわいがやがやしているうちに多田先生の乾杯で始まりました。恒例の杉本先生の孫さん2人によるビンゴ大会が始まり、最初はなかなかリーチもかからず「今日の天気みたい・・・」でしたが、最初のビンゴが小学生の元気な声で叫ばれると、徐々に盛り上がり全員飲みながら食べながら楽しむことができました。ひりは誰か？な・い・しょ。濱田先生の乾杯でしめてその後2次会もありましたが、この日の疲れと明日の英気を養うため早めの就寝を全員心掛けました。部屋で楽しく談笑されてる声も聞かれました。

2日目は期待通り昨日より少し天候も回復し、みんなやる気満々（スキー・温泉）でしたが、やはり寒い！！1日目より整地された斜面を滑る姿はとても楽しそうでした。コツをつかんで上からノンストップで滑る人。新雪をグループで華麗に滑る人々。超急斜面に挑み楽しそうに（？）雪とたわむれる人々を見ていて、スキーはやはり年齢に関係なく冬を楽しめるスポーツなのだと実感しました。最後にスキーや荷物をみんなで協力して積み込み、お土産を買ってピリカスキー場を後にしました。また、来年もスキー仲間、温泉仲間でこのツアーを楽しみたいですね。



(文責 馬場)

スキーツアー

ご苦労様